

## 新潟県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

### 社会への恩返し

長岡市立東北中学校

三年 遠山 いろは

「税金をできるだけ払いたくない。」

一般的な人は消費税だけでなく住民税や所得税などたくさん税を納めている中でそう感じることは不思議ではない。しかし私はそういう人の意見を聞くと今まで幸せだったのだろうと思うのである。なぜなら税金は社会の弱者や困難の陥っている人を救う目的に集められるお金であるからである。税金に恩恵を受けた経験のある私にとって税金は払いたくないと思えるものなのである。

生まれて一ヶ月。八千代医療センターに、つれられた。私の体に異変があった。心臓の雑音を医師から指摘されたのである。精密検査を終え、自然治療が難しいと判断され手術を受けさせてもらった。多額となった治療費は全て高額療養費制度によって税金に負担してもらえた。今となっては日常生活に支障なく、楽しい毎日を送ることができている。

母によく言われた言葉がある。

「大丈夫。なんとたっているのは心臓さんの手術がんばれたんだから。ママでも怖い手術をいろはは乗り越えたんだよ。だ

からいろははなんだってできるんだよ。」

幼いころからよく言われた言葉だった。不安や恐怖に直面した時、心臓の病気を克服したという経験が私自身に自信を与えてくれたのだ。そして先日行われた所属している器械体操部の大会では緊張や不安で押し潰されそうな私を「できる」という気持ちに切り替えたのはやはり手術の経験だった。大会では優勝を収め、1ステップ上へと進むことができたのだ。つまり税金は私を助けただけでなく今も尚成長する源となっているのだ。

私ははやく大人になって多くの税金が払えるようになりたい。私が一人税金を払うようになったくらいでは変わらないかもしれない。しかし税金を払うことによって私と同じような大きな病気を抱えた子供や、治してあげたいけどお金に困る親の力になることはできないのではないだろうか。それは、困難な状況に直面している誰かに貢献できるということではないだろうか。

税金とは何か。私は税金はお金を通じて国民同士が助け合っているものだと思う。それぞれのお金が、自分が払ったお金が誰かのためになる。国民の誰かに手をさしのべることが税金を通してできるのである。国民にとって過ごしやすい環境をつくるのが税金を通してできるのである。つまり、税金を払うということは社会に貢献できるということである。

だから私は大人になって税を納め社会に恩返しをしたいのである。